

国語

【解答例】

第1問

- 問1 アくし      イ脅威      ウ熟知      エよじょう      オおんしょう
- 問2 イ・エ
- 問3 共感力
- 問4 人類が成功者として歩んできたという思想
- 問5 歌や踊りなどの音楽的コミュニケーションが共感力の強化を促進する役割を果たしたということ。
- 問6 自分たちの周りの世界を自分たちから切り離し、自分たちの都合よく暮らしていくためにつくり替えていくこと。
- 問7 地位・身分の下の方が上の者を押しつけて権力を握るという、社会秩序が崩壊し人間不信が極まった世の中において、人々は、現世の苦しみは死後の世界で救済されるという宗教に救いを求めようとしたから。
- 問8 言葉には、支配層に弄されることで社会の外に共通の敵を作って団結する仕組みの基として使われ、武力の強化と共に今も戦争の基本的な考え方として力を発揮しているという負の側面があるから。

【採点の観点】

- 問5 「触媒Ⅱ他を促進する働き」の意味を考え、解答に反映させているか。
- 問6 「対象化Ⅱ物事を一歩引いて把握すること」の意味を考え、解答に反映させているか。
- 問7 「下剋上の世の中」における「宗教」の意味を考え、解答に反映させているか。
- 問8 本文から「言葉」が歴史上果たした「負の役割」を読み取り、解答に反映させているか。

第2問

- 問1 ア 確保      イ 究極（窮極）      ウ ゆる（き）      エ とくめい      オ 痛烈
- 問2 空気感
- 問3 ウ
- 問4 イ
- 問5 対象を完全に否定することなく、好き嫌いは人それぞれだというニュアンスを含む一種の逃げ道を作ることができ、更に「ちょっと」「かも」でそれを強化している点。
- 問6 自ら進んで逃げ道をふさいでみせることで、その対極にある「もによる」という強力な逃げ道的な表現への痛烈な反論を示すため。
- 問7 対象に対して抱いた否定の気持ちがあるにもかかわらず、その理由を説明したり、責任を取ることはしたくないということ。
- 問8 誰になぜ「批判を呼びそうだ」なのか、ということが明示されないまま、透明人間の駄目出しのような否定の気分だけが生み出されるから。

【採点の観点】

- 問5 「便利Ⅱ都合のいい」の意味を考え、解答に反映させているか。
- 問6 普通はしない「わざと過激な言い回し」を行う意味を考え、解答に反映させているか。
- 問7 「卑怯者Ⅱずるく、いやしい者」の意味を考え、解答に反映させているか。
- 問8 「不意に書き手の姿が消えてしまう」時の思いを本文から読み取り、解答に反映させているか。